

今日反禱産業の惨状を見るに當つて、ここに當りて合理的なる労資關係をつくり出すことの必要を痛感する。内務省社會司の報告に依りて、反禱産業に於ける労資關係の状況は、勞資の要求が全部貫徹する如きは殊に稀で、多くの場合失業者を出し、争議は労資間の間に落ちてゐることに小さい争議に於ては、労資が生活に困り、戦力も失つて、離散したるに相当する。然らば産業側は、如何に経営困難と工場閉鎖と倒産相つて多か、勞資の間の相対的破産との救亦極めて多いのである。従つて京都反禱職工組合は不合理なる手段手段を捨て、平和的且合理的に一切の労資關係を處理して産業發展平和を確立すべしと、内務省に訴へ、即ち団体協約の徹底を望み、工場主は職工組合を公認して、これと労資問題を交渉し、更に協約の徹底のためには、且より職工組合協力も惜むとのではない、即ち団体協約に依つて産業の秩序を計り公開なる方法に依つて労資条件の改善もなすべきである。

実行方法 各工場主に向つて団体協約を締結を促進し、更に産業組合を強固なる協約をむすぶべきである。具体策は新評議員一任

第六号議案
反禱工業組合確立支持に付する件

説明者 岡島泰次郎

我等の從事してゐる反禱産業は中小商工業の無統制と個人の利己主義と自由競争の結果、倒れ政策没落せんとする傾向に支配されて、最も悲惨なる状態を呈してゐるのである。しかも、同屋筋の賃額の騰下と工場主の無自覚な程度に産業を衰微せしめたことより、世界的不況の原因とあるが、今内務省は全国的に中小工業に産業統制を促し、自己本位の経営振りを計算せしめ、つとより、しかも時を同じはして産業發展のため反禱産業主は、この工業組合を創立して生産の調節價格の協定制度、検査等の産業統制の實現を以て、火んぐりしてゐるべきである。然しなかり、一方的支配のみにて産業統制が完成されるものでない、労資統制なくして、工業組合の發達は期し得ぬ水ない。

実行方法 新任 評議員一任

又上